

コロンビア月例報告（12月分）

外政・内政状況

2012年1月

コロンビア日本大使館

I 概要

【外政】

- 2～3日 サントス大統領のラ米カリブ首脳会合（CALC）出席（於：ベネズエラ）
- 4日 サントス大統領の第2回太平洋同盟首脳会合出席（於：メキシコ）
- 10日 オルギン外相のアルゼンチン大統領就任式出席（於：アルゼンチン）
- 12～14日 オルギン外相のボリビア・エクアドル訪問及び19日 サントス大統領のエクアドル訪問

【内政】

- 2～22日 主要人事発表
- 6日 FARCに反対するデモ行進
- 8日 長雨被害の継続
- 10～11日 自由党大会の開催
- 16日 国会の閉会
- 20日 犠牲者及び土地返還法の関連政令への大統領による署名
- 27日 FARCによる人質解放声明
- 30日 大統領による来年の重要課題の発表

II 外政

1 サントス大統領のラ米カリブ首脳会合（CALC）出席（於：ベネズエラ）

2～3日、サントス大統領は、ベネズエラで開催されたラ米カリブ首脳会合（CALC）に出席した。同会合において、ラ米カリブ諸国共同体（CELAC）手続き規程が採択された。同会合において、サントス大統領は、麻薬対策における協力の重要性を強調した。また、会合において、ガルソン副大統領の国際労働機関（ILO）の事務局長立候補を支持する旨決議が行われた。

2 第2回太平洋同盟首脳会合の開催（於：メキシコ）

4日、サントス大統領は、メリダ市（メキシコ）で開催された第2回太平洋同盟首脳会合に出席した。同会合においては、作業部会（①貿易と統合、②サービス及び資金、③ビジネス・パーソンの移動、④紛争処理メカニズム）の報告を元に議論が行われた。

3 オルギン外相のアルゼンチン大統領就任式への出席（於：アルゼンチン）

10日、オルギン外相は、フェルナンデス・アルゼンチン大統領就任式への出席するため、アルゼンチンを訪問した。サントス大統領は、長雨被害対策のため、出席を見合わせた。

4 オルギン外相のボリビア・エクアドル訪問及びサントス大統領のエクアドル訪問

12日、オルギン外相は、ボリビアを訪問し、チョケワンカ外相と、アンデス地域における電力市場の統合、技術、文化、教育、スポーツの各分野における協力強化、麻薬対策、及び人の移動について意見交換を行った。14日、同外相は、エクアドルを訪問し、パティニーヨ外相と二時間に亘って会談し、二国間関係の強化、また19日のサントス大統領のエクアドル訪問の準備を行った。

19日、サントス大統領はエクアドル訪問を訪問、コリア大統領と会談を行った。両国首脳は会談終了後、国境における治安、移民、交通、エネルギー、難民、国境、貿易に関する共同声明に署名した。サントス大統領の訪問は、2009年末の両国間関係改善後、発の訪問であった。

III 内政

1 主要人事発表

2日、ピサロ被害者補償・和解全国委員会（CNR）前委員長が、在オランダ大使に転出した。5日、ルナ氏（前ボゴタ市長選挙候補、自由党）が労働次官に、レストレポ氏（前財務省公債局長）がコロンビア情報庁（ANIC）監督官（新設ポスト）、アルセ氏（前内務省違法財産管理局长）が財務次官に就任した。22日、ベスード氏（大統領府環境高等審議官）が、国際協力庁長官に就任した。

2 FARCに反対するデモ行進

先月、FARC第63戦線により、10年以上に渡って誘拐されていた軍人及び警察官計4名が殺害されたことを受け、6日、コロンビア全国主要都市において、FARCに反対するデモ行進が行われた。

3 長雨被害の継続

8日、内務省リスク管理局は、ラ・ニーニャ現象による今冬の長雨被害により、134名の死亡が確認されたと発表した。政府は、2014年までに、4.6兆ペソを被災地再建のために充当する予定。対象地域は、23県1060の市町村が含まれる。

4 自由党大会の開催

10～11日、自由党大会が開催され、ガビリア下院議長が、史上初となる31歳の若さで党首に選出された。同人は、1991年、制憲議会を立ち上げ、また開放経済政策に向けて大きな政治経済改革を行ったガビリア元大統領の息子。党大会に寄せて、サントス大統領は、バルガス内務大臣を通じ、異なる政党に所属しているとしても、自由党の理念を共有するとのメッセージを送った。

5 ポゴタ市道路建設を巡る汚職事件に対する判決

15日、ポゴタ道路建設を巡る汚職事件に関与したとされるヌーレ（NULE）三兄弟に対し、地裁判決が言い渡された。収賄に対する実刑15年を受け入れることにより、刑期は7年半に短縮されることとなった。

6 国会の閉会

16日、国会が閉会した。閉会までに、国家テレビ委員会（CNTV）の解体及び国家テレビ庁（ANTV）の新設、鉱業採掘権収入分配法や、電話会社コルテルへの資本注入といった経済法案、あらゆる差別に対する刑事罰の導入、長雨被害に対する公共サービス及び雇用対策といった社会法案が承認された。平和のための法的枠組や司法改革については、次回の会期において、審議が継続する予定。

7 犠牲者及び土地返還法の関連政令への大統領による署名

20日、サントス大統領は、犠牲者及び土地返還法の関連し、11の政令に署名した。国内武力紛争により、土地を収奪されたり、殺人や誘拐の犠牲となった市民に対し、9百万から21百万ペソを賠償する。2012年の予算は、6.1兆ペソ。犠牲者は、犠牲者統一名簿に登録する必要がある。

8 FARCによる人質解放声明

27日、FARCは、コルドバ元上院議員との約束により、警察及び軍関係者の人質11名から6名を開放する旨発表したものの、これまでのところ実現していない。

9 30日 大統領による来年の重要課題の発表

30日、大統領は、2012年の重要課題として、犠牲者及び土地返還法の施行、米との自由貿易協定の発効のための法案整備、長雨被害からの復興を挙げた。長雨被害対策として、インフラ整備に6兆ペソが投資される予定。

(了)